

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年11月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第41期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日） |
| 【会社名】 | クリエートメディック株式会社 |
| 【英訳名】 | CREATE MEDIC CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 佐藤 正浩 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 |
| 【電話番号】 | (045)943-2611(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理統括部長 橋井 敦 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 |
| 【電話番号】 | (045)943-2611(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理統括部長 橋井 敦 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第40期 第3四半期連結 累計期間 | 第41期 第3四半期連結 累計期間 | 第40期 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 1月1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 1月1日 至 平成26年 9月30日 | 自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日 |
| 売上高 (千円) | 7,012,652 | 6,950,116 | 9,880,617 |
| 経常利益 (千円) | 506,124 | 557,517 | 953,073 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 285,258 | 388,990 | 533,628 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 717,139 | 480,569 | 1,221,215 |
| 純資産額 (千円) | 11,857,587 | 12,505,314 | 12,361,568 |
| 総資産額 (千円) | 16,812,306 | 17,219,133 | 17,443,761 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円) | 29.66 | 40.45 | 55.49 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 70.5 | 72.6 | 70.9 |

| 回次 | 第40期 第3四半期連結 会計期間 | 第41期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 7月1日 至 平成26年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 1.41 | 11.81 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第2四半期連結会計期間において、東南アジアへの販売進出の中核拠点として、ベトナム・ホーチミン市に販売子会社を設立(平成26年5月)しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により企業収益が緩やかな回復基調となりました。一方、個人消費は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が和らぎつつあるものの、急激な円安により食糧・エネルギー価格が上昇し、先行き不透明な状況となっております。

医療機器業界におきましては、政府の成長戦略として改正薬事法や医療・介護などの関連法案が整備されつつあり、慢性期・在宅医療といった新たな需要拡大も見込まれますが、足下の状況としては医療費抑制策である公定価格の改定や医療機関の共同購入による単価抑制圧力もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、本年度からスタートした中期経営計画に基づき、国内では慢性期医療への本格参入と新規OEMの獲得、海外では東南アジア市場への販売進出に着手し、国内外における販売体制の構築と営業活動に注力いたしました。

これらの活動により、売上高につきましては、海外販売が中国市場の堅調な伸びと円安の影響により二桁増の伸びとなりましたが、国内の自社販売・OEM販売の減少が大きく、全体では前年同期を下回る結果となりました。利益につきましては、海外生産による原価低減と販売管理費の抑制が売上の不足を吸収し、更に為替差益の影響もあって営業利益・経常利益・四半期純利益いずれも増益の結果となっております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,950百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益557百万円（前年同期比10.2%増）、四半期純利益388百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

< 自社販売 >

自社販売は、泌尿器系のフォーリートレイキットが医療現場での効率化のニーズから引き続き堅調に推移し、外科系の気管切開チューブ・内視鏡下手術関連製品・疼痛管理用ディスポーザブルポンプ等も販売好調により伸長しました。一方、消化器系が全般的に公定価格の改定や企業間競争により伸び悩み、血管系の一部製品も不採算品目の見直しにより減少いたしました。

以上により、売上高4,483百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、外科系の気管切開チューブが増加しましたが、その他が前年同期を下回り、特に血管造影製品が供給先の生産調整による一時的な減少により、売上高1,205百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、中国市場が泌尿器系を中心に引き続き堅調に推移し、欧州市場の泌尿器系・消化器系も在庫調整の反動で受注が回復しました。更に為替の影響も加わり、売上高1,260百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して224百万円減少し、17,219百万円となりました。これは、有価証券の減少299百万円が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して368百万円減少し、4,713百万円となりました。これは、短期借入金の減少145百万円、未払法人税等の減少172百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して143百万円増加し、12,505百万円となりました。これは、利益剰余金の増加52百万円、為替換算調整勘定の増加87百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、174百万円となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年11月11日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|----------------------------|---------------|
| 普通株式 | 9,664,327 | 9,664,327 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 9,664,327 | 9,664,327 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数 (株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増減額 (千円) | 資本準備金残高 (千円) |
|--------------------------|-------------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成26年7月1日～ 平成26年9月30日 | - | 9,664,327 | - | 1,461,735 | - | 1,486,022 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 47,900 | - | 単元株式数100株 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 9,606,100 | 96,061 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 10,327 | - | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 9,664,327 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 96,061 | - |

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式69株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| クリエートメディック株式会社 | 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号 | 47,900 | - | 47,900 | 0.50 |
| 計 | - | 47,900 | - | 47,900 | 0.50 |

2【役員】の状況

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,420,350 | 3,927,020 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,415,711 | 2,804,351 |
| 電子記録債権 | 59,460 | 347,265 |
| 有価証券 | 400,012 | 100,019 |
| 商品及び製品 | 1,661,945 | 1,599,062 |
| 仕掛品 | 539,531 | 594,161 |
| 原材料及び貯蔵品 | 639,107 | 615,477 |
| 繰延税金資産 | 122,836 | 167,222 |
| その他 | 117,586 | 279,367 |
| 貸倒引当金 | 1,000 | 1,000 |
| 流動資産合計 | 10,375,541 | 10,432,947 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,276,501 | 2,220,662 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 796,133 | 755,936 |
| 土地 | 2,022,313 | 1,986,650 |
| リース資産(純額) | 22,233 | 9,906 |
| 建設仮勘定 | 16,231 | 12,136 |
| その他(純額) | 163,954 | 156,731 |
| 有形固定資産合計 | 5,297,368 | 5,142,023 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 177,331 | 178,826 |
| その他 | 25,106 | 23,250 |
| 無形固定資産合計 | 202,437 | 202,076 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,107,438 | 1,014,024 |
| 繰延税金資産 | 376,370 | 345,331 |
| その他 | 84,605 | 82,728 |
| 投資その他の資産合計 | 1,568,413 | 1,442,084 |
| 固定資産合計 | 7,068,219 | 6,786,185 |
| 資産合計 | 17,443,761 | 17,219,133 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 699,044 | 727,923 |
| 短期借入金 | 1,045,000 | 900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 210,780 | 218,840 |
| リース債務 | 17,052 | 10,384 |
| 未払法人税等 | 241,030 | 68,919 |
| 賞与引当金 | 25,803 | 132,884 |
| 役員賞与引当金 | 12,900 | 10,342 |
| その他 | 576,336 | 524,399 |
| 流動負債合計 | 2,827,948 | 2,593,693 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 937,730 | 801,810 |
| リース債務 | 6,292 | - |
| 退職給付引当金 | 1,095,791 | 1,129,123 |
| 役員退職慰労引当金 | 202,207 | 176,918 |
| 資産除去債務 | 3,047 | 3,098 |
| 長期末払金 | 9,175 | 9,175 |
| 固定負債合計 | 2,254,244 | 2,120,124 |
| 負債合計 | 5,082,193 | 4,713,818 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,461,735 | 1,461,735 |
| 資本剰余金 | 1,486,022 | 1,486,022 |
| 利益剰余金 | 8,733,673 | 8,786,090 |
| 自己株式 | 34,677 | 34,927 |
| 株主資本合計 | 11,646,753 | 11,698,921 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 62,421 | 66,298 |
| 為替換算調整勘定 | 652,393 | 740,094 |
| その他の包括利益累計額合計 | 714,814 | 806,393 |
| 純資産合計 | 12,361,568 | 12,505,314 |
| 負債純資産合計 | 17,443,761 | 17,219,133 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 7,012,652 | 6,950,116 |
| 売上原価 | 3,901,900 | 3,936,190 |
| 売上総利益 | 3,110,752 | 3,013,926 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,631,353 | 2,526,973 |
| 営業利益 | 479,398 | 486,952 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,277 | 12,969 |
| 受取配当金 | 2,273 | 2,470 |
| 為替差益 | 11,728 | 53,365 |
| 金利スワップ評価益 | - | 509 |
| その他 | 20,147 | 13,524 |
| 営業外収益合計 | 44,426 | 82,840 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,461 | 9,795 |
| その他 | 6,240 | 2,481 |
| 営業外費用合計 | 17,701 | 12,276 |
| 経常利益 | 506,124 | 557,517 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社出資金評価損 | 51,783 | - |
| 特別損失合計 | 51,783 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 454,340 | 557,517 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 258,441 | 183,817 |
| 法人税等調整額 | 89,360 | 15,291 |
| 法人税等合計 | 169,081 | 168,526 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 285,258 | 388,990 |
| 四半期純利益 | 285,258 | 388,990 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 285,258 | 388,990 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 37,802 | 3,877 |
| 為替換算調整勘定 | 394,077 | 87,700 |
| その他の包括利益合計 | 431,880 | 91,578 |
| 四半期包括利益 | 717,139 | 480,569 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 717,139 | 480,569 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したベトナムクリエイトメディック国際貿易有限会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|------|--------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 97,418千円 | |
| 支払手形 | 149,673 | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 204,304千円 | 246,918千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成25年3月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 173,100 | 18 | 平成24年12月31日 | 平成25年3月29日 | 利益剰余金 |
| 平成25年8月5日 取締役会(注) | 普通株式 | 153,865 | 16 | 平成25年6月30日 | 平成25年9月9日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額16円には記念配当1円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------------|-------|----------------|---------------------|-------------|------------|-------|
| 平成26年3月28日 定時株主総会(注) | 普通株式 | 182,711 | 19 | 平成25年12月31日 | 平成26年3月31日 | 利益剰余金 |
| 平成26年8月6日 取締役会 | 普通株式 | 153,861 | 16 | 平成26年6月30日 | 平成26年9月8日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当額19円には記念配当1円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間
(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

当社グループはディスプレイカテーター・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 29円66銭 | 40円45銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 285,258 | 388,990 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 285,258 | 388,990 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,616,598 | 9,616,313 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

第41期(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)中間配当については、平成26年8月6日開催の取締役会において、平成26年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | | |
|--------------------|-----------|-----------|
| 配当金の総額 | 153,861千円 | |
| 1株当たりの金額 | 16円00銭 | |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | | 平成26年9月8日 |

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月11日

クリエイトメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三浦 洋輔 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエイトメディック株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエイトメディック株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。